

2025 年 6 月 8 日（日）第二礼拝「聖霊と福音」ルカ 4 章 16～21 節

聖霊様が臨まれる時、私たちに福音を宣べ伝える力が与えられます。イエス様は三十歳の時、聖霊様が鳩のように臨まれ、福音を語り始めました。イエス様は聖霊によってガリラヤ地方で福音を宣べ伝え、次にナザレに行かれ、そこにある会堂で「きょう、聖書のこのみことばがあなたがたが聞いたとおり実現しました。」と言われました。イエス様が語られた御言葉(福音)が、そこで聞く人々に実現されたのです。福音を実現する力は、聖霊様によります。ですからイエス様は「聖霊を受けなさい。」と言われました。聖霊様が臨まれる時、私たちは力を受け、地の果てまでイエス様(福音)の証人となることができます。

第一番目、貧しい人に福音を伝えることです。当時、何らかの事情で自分の所有地や財産を売った人たちは奴隷の生活となり、貧しくなりました。その所有地が元の所有者に返却されるのは、その人の親族がお金を払ってその土地を買い戻すか、親族がいない場合は、五十年ごとのヨベルの年に土地が返却されるのを待つかでした。福音とは、売ってしまった土地が自分の元に戻ることです。聖霊様が臨まれる時、ヨベルの年(恵みの年)が宣言され、貧困から自由になり、生活が変えられます。イエス様が人となってこの地に来られたのは、私たちの親類となるためです。イエス様は私たちの全ての罪を十字架で支払い、私たちの失ったものを取り戻し、自由を与えてくださいました。

第二番目、捕らわれた人に赦免(自由)を与えてくださいます。アメリカのパトリック・ヘンリーさんは「自由が無いなら死をください。」と宣言し、独立戦争で自由を獲得しました。

イスラエルも偶像崇拜の結果、バビロンの捕虜となり、自由が完全に奪われました。バビロンは偶像崇拜の地だったため、イスラエルの民は強制的に偶像崇拜をさせられました。そのような彼らを解放するため、神様はペルシャの王クロスを立て、油と力を注がれました。クロスはバビロンを倒し、捕らわれていたユダヤ人を故郷に帰還させ、神殿を建てるようにしました。こうして、油注がれたクロス王によって、ユダヤ人は自由を取り戻したのです。

また、あらゆる中毒(アルコール、ギャンブル、ゲーム等)に捕らわれた人たちや、霊的に盲目(信仰の目が閉ざされた状態)になって御言葉を信じるのできなかった人たちに、聖霊様が注がれる時、彼らはイエス様を信じて悔い改め、イエス様の血によってきよめられ、中毒から解放され、信仰の目が開かれ、御言葉を悟り、天国への希望が与えられるのです。

第三番目、しいたげられている人に自由と恵みの年が宣言されます。イエス・キリストの十字架の贖いが、信じる今この瞬間に与えられます。今日が救いの日です。ペンテコステに聖霊様が送られ、ヨベルの年のラッパが吹き鳴らされ、しいたげられている人たちに自由が宣言されました。聖霊様によって、御言葉(福音)が実現されたのです。イエス様の十字架によって私たちは罪から解放され、聖霊を受けて霊の目が開かれ、私たちの奪われた自由は取り戻され、エデン(喜び)が回復しました。そして、私たちは地獄に行く運命から天国を見る者へと変えられました。神様の国は、私たちのものとなったのです。アーメン！